

# 東京のうたごえ協議会 総会を開催しました



交代する中里さんと小林さん



総会は加盟する72団体、2個人から当日参加は38団体、代議員41名、評議員18名の参加、委任状29で成立しました。

最初に4月28日の「バックトゥザフーちゃん」の公演をひかえて津島原発訴訟弁護団事務局長の白井弁護士に講演していただきました。

23年度総括、24年度方針案の提案後は討論で15件の発言と二つの文書発言で18名が発言しました。

その後23年度決算、24年度予算提案があり、議案、23年決算、24年予算が採決され承認

三月一七日(日)赤羽北区民センターにて2024年東京のうたごえ協議会総会が開催されました。

# 東京れぽおと

発行 東京のうたごえ協議会  
Tel: 03-3200-4977  
Fax: 03-6801-7399  
Email: toukyou@max.odn.ne.jp

## 今年度の活動方針

総会で承認された24年度の活動の柱は次の8点になります。

一 うたごえ80周年に向けた、運動の発展をめざしてうたごえを広げ、ともに歌う「輪」を大きくしましょう。若い新しい仲間を迎えましょう！

二 演奏創造創作として、人々の願い、要求を反映した歌を創り、広め、新たな結びつきを生み出しましょう。

三 組織建設として、うたごえの仲間の励まし合いを強め、また新しい仲間づくりにも目を向けましょう。そして元気な魅

## 80周年「うたごえ祭典」

四年後の28年に80周年記念日本のうたごえ祭典を東京で開催したいと全国協議会から打診されています。

開催是非も含めて、今年度中に80周年に向けた東京の活動プランを作り上げたいと考えています。

80周年記念日本のうたごえ祭典東京開催の是非を今年度中に決められるように準備をしていきます。

皆さんのご協力をよろしくお願いします。

## 2024年度新役員

会長	轟志保子	中央合唱団	常任委員	外山靖雄	電通西南コーラス
副会長	大井かつ江	南部合唱団	常任委員	小林悦子	みなと合唱団 新
副会長	佐宗弘雄	合唱団TOSEI	常任委員	中澤俊之	東京郵便合唱団
副会長	鈴木勝雄	調布狛江合唱団	常任委員	山崎慶晴	私鉄池袋ターミナル合唱団
副会長	竹澤まみ	三多摩青年合唱団	常任委員	山崎やす代	江戸川保育のうたごえサークルふくじゅ草
副会長	山田千賀子	合唱団北星	常任委員	堀江泰信	合唱団この灯
事務局長	椎橋亨	中央合唱団	常任委員	前澤裕子	杉並ぞうれっしや合唱団
事務局次長	益子ヒロミ	文京新婦人コーラスあしたば	常任委員	渡辺うめ	足立保母つくしんぼサークル
常任委員	井藤綾子	合唱団白樺	会計監査	北出宏栄	電通西南コーラス
常任委員	岩崎あすか	東京青年のうたごえ	会計監査	松本良子	絹の道合唱団 新
常任委員	片山操子	絹の道合唱団			
常任委員	加山忠	南部合唱団			
常任委員	古谷八代恵	調布狛江合唱団	退任	中里淳子	港新婦人コスモスコーラス

# 今東京でバックトゥザフーちゃんIIを上演する意味とは

## 白井弁護士の講演から考える

東日本大震災から今年11日で丸13年が経ちました。福島第一原発事故からもう13年経った現在でも人が住めなくなってしまう、住民たちが元の自宅に帰ることができない。そういう広大な地域があります。帰還困難区域と呼ばれています。

福島の現実を知っていただく素材としてミュージカルの中で取り上げられているものに、福島県浪江町の津島地区があります。特に放射性物質に

よる汚染がひどく地域まることが帰還困難区域になる津島地区は、福島県浪江町の西側半分の山間の地域です。浪江町と合併する以前は、津島村という一つの村でした。

津島地区は福島第一原発から20キロないし30キロ離れています。

原発事故が起きたときもそれだけ離れているので津島地区は安全だと思われていました。ですから、原発に近い地域の人々が津島地区に次々と避難



講演する白井弁護士

してきていました。普段から1400人たらずの地域に1万人がやってきた。ところが、実際には原発から放出された放射性物質が北西方向の風に乗って大量に津島地区に降り注ぎました。

国も、東京電力も、福島県も早い段階でそのこと

を知っていました。しかし、浪江町にも津島の住民たちにも知らされませんでした。浪江町は原発に近い東側の地域の住民たちを西側にある津島地区に避難させました。住民はすべて着の身着のまま、散り散りに避難していききました。その時はほんの数日で帰って来れると誰も思っていました。まさか10年を超える長い避難生活の始まりだとは誰一人想像していませんでした。

そして、何世代にも渡って営々と続けられてきた生活が突然に断ち切られてしまいました。原発事故のために住民はすべてを奪われたのです。

津島地区は本当に美しい場所です。住民たちの半数近く約650名が裁判に立ち上がりました。

「ふるさとを返せ、津島地区を人が住める状態にして安心して住める状態にして私たちに返せ。」と国と東京電力に対して訴える訴訟です。

津島訴訟には3つの特徴があります。

第一の特徴は帰還困難区域の住民だけによる集団訴訟だということです。

第二の特徴は、地域の環境を元通り復元すること、つまり津島地区の環境復元を求める裁判であるということです。

第三の特徴は、大勢の住民が現に高線量の放射

線被爆をしたということ。一昨年22年6月17日、最高裁は福島原発事故に関する国の責任を否定しませんでした。政府はこの最高裁判決によってお墨付きを得たとしてもいかに原発再稼働を進め、新たな原発の建設さえ望み策を打ち出しています。

裁判で国の責任を問う意味の一つは、原発事故の再発防止にあります。広く社会に向かって福島の実情、とりわけ津島地区の現実を知らせていくとともに、最高裁判決のおかしさを伝えていく活動を粘り強く行うことが必要だと思っています。

## 4月以降の予定

4月21日(日)フーちゃん東京公演  
合同練習会 港区リーブラ  
10:30~12:30東京合同練習会  
13:00~ぞう合同練習会

4月22日(月)中央メーデー練習会  
音楽センター地下ホール  
18:30~20:30

4月23日(火)憲法集会練習会  
雑司が谷地域文化創造館第二練習室  
18:00~20:30

4月26日(金)  
三多摩のうたごえメーデー前夜祭  
くにたち福祉会館  
18:45~20:30

4月28日(日)バックトゥザフーちゃんII 東京公演  
14時開演 北とびあ サクラホール

4月29日(月・祝)足立ピースフラワー  
愛と平和を歌うコンサート  
西新井文化ホール(ギャラクシティ)  
13時開場 13:30開演 一般999円  
連絡先: 横川昭03-3854-3653

5月1日(水)メーデー  
中央 : 代々木公園

三多摩: 井の頭公園西園

5月3日(金・祝)憲法集会  
場所: 東京・有明防災公園

5月5日(日)  
若者憲法集会うたごえ練習会  
音楽センター地下ホール  
13:00~16:00、17:00~交流会

5月6日(月・祝)国民平和行進  
スタート集会  
夢の島公園第5福竜丸前  
11:30オープニングイベント

5月7日(火)国民平和行出発式  
芝公園平和の灯前 9:00出発式

## 全国の主な予定

5月5日(日)  
Zoomオンライン新作創作発表会  
プラスおしゃべり会  
14:00~17:00

5月25日(土)・26日(日)  
東日本合唱講習会  
25日 中目黒GPプラザホール  
12:20受付開始~20:30終了  
26日 横浜YWCAホール  
9:30受付開始~16:30終了

# 総会発言のまとめ

発言は代読も含めまして17本ありました。原口さんも話していたので発言者は18名となります。

## フーちゃんⅡ

午前中の白井弁護士講演では、福島の今、本当に美しいふるさとが帰れない土地になってしまっている。そういう中で、お金はいらない、もとに戻してほしいという切実な闘いがあるということ、ぜひそのためにも「バックトゥザフーちゃんⅡ」を成功させてほしいという話だったと思います。

それに関連して、「この灯」の武田さんからは3月12日に宝鏡寺で行われた現地集

会に合唱団で参加されて、そこでも伊藤達也さんの話を、改めて自殺者が多かったりとかという話を受け止めて報告いただきました。もう一つ最後に「杉並ぞう」の佐藤さんからは、「バックトゥザフーチャンⅡ」で子どもたちがどんなふうな現実を受け止めて、今練習に励んでいる。どんな思いを伝えたい



佐藤さん 武田さん

のかということに深く取り組んでいるという話がありました。本当にみんなで成功させていかなければいけないことなんですけれども、組織、財政の現状としてはまだまだ足りないという、厳しい状況も報告されていますので、ぜひあと1か月の力で成功させていきたいと思えます。

## 職場のうた「え

職場のうたごえの元氣な取り組みもたくさん報告されています。



小泉さん

東部の保育のうたごえの小泉さんからは、4つのサークルが支え合って連帯して元気に活動しているということが語られました。それから、保育の全国のLINEには50名の方が加わっておられて、そのことである新しい曲ができたとか、こんな形で進めていこう

続けていけるのかどうかというようなお話も出ました。ぜひ頑張っていただけならなというふうにも思いました。



丸山さん(右)と原口さん(左)

「うでまくら」の丸山さんからは、歌は闘いとともにということを実践されているということ、税務職場復帰の闘いで「アゲイン」という曲が生まれてそれがとても大きな力になっているということ、闘っている原口さんからも熱いメッセージをいただきました。「東京郵便」の堀江さ

もつながっていくのではないかと話もいただきました。

## 郷土の活動

郷土は「南部合唱団」の小島さんと「調布柏江」の鈴木勝雄さんから報告がありました。



小嶋さん

「風の太鼓」など昨年北海道での演奏、それから今年には佐賀の中学生も駆けつけてくださって、郷土講習会が開かれるというところでとても楽しみに紹介しました。

というような打ち合わせができるということ、運動が飛躍的に便利になり広がっているという報告がありました。

「空」の藤田さんからは、昨年発足して2年目を迎えていますけれども、団員がたくさん増えてきているということ。



藤田さん

それから「バックトゥザフーちゃんⅡ」の成功に向けても奮闘されていること、そしてJALの争議をまだJHJの皆さんが戦っておられますけれども、争議解決、勝利解決ということで報告集会



堀江さん

んからは、演奏会で10人で歌って、それを聴いた現役の仲間がひとり入団してくれたという。やっぱり歌っていくことで応えてくれる仲間がいるんだなということを感じて頑張っているという話がありました。

## 創作のちから

創作ですけれども、保育では「もう一人行進曲」が出来て大きく広がっていく中で、実際に政府の方に改善の動きが生まれてきたりとか「アゲイン」のことなど。「柏江ぞう列車」の佐久間さんからは、中学生が広島体験学習の中で感じたことを詩にまとめ



鈴木さん

鈴木勝夫さんは、60周年のコンサートを3月30日に控えて、一般公募で歌うことを呼びかけた。たくさんの方たちが加わっていたので、楽しいということが、10人くらいが入団されたこと。また



23年総括と24年方針の採決

をされてその意義ということを報告書にまとめられたということ、ぜひ皆さんに読んでほしいという話もありました。



松澤さん

また、電通ナイスミディの松澤さんからは、3.7の春闘大勝利の集会・ストライキに歌で参加してとても皆さんから「励まされた」という声をいただいたという声でして。皆さん、年を重ねられて80代を超えてということで、昨年は埼玉で成功された電通祭典を今年も東京でということですが、



佐久間さん

て、それにぜひ曲をつけてほしいということ、大熊啓さんがつけた「虹をつなぐ」という曲がフェスタでも演奏され、これは宝だということ、平和学習も大きく広がっている力にならないうことは、という積極的な提案がありました。未来につながるようなこういう実践を大きく広げていけたらと思います。

## 地域の活動

地域で根差した活動ということ、足立ピースの加藤さんからは、4年ぶりに昨年開いたコンサートをたくさんの方々が待っていたという感じ

親子3世代で出演してくる方も紹介されました。昔からつながっていきその絆、地域の中にあるということ、素晴らしい報告だったと思います。



伊藤さん

「東京紫金草合唱団」の方からは関東大震災追悼集会での演奏。それから来年は中国公演をしたいということで計画が進んでいると報告になりました。「絹の道合唱団」の杉田さんからは、昨年10月の演奏会を専門家の方の「あなたたちはこの音楽

## 『2024国際女性デー中央大会』で70人のうた

集会に先立ち約150人が銀座をパレード、講演は猿田佐世さんで「戦争させないために声をあげよう 行動しよう 今こそ外交の力を」と題して最後まで外交を諦めてはならないと強調しました。

3月8日品川きゅりあん小ホールで『国際女性デー中央大会』が行われました。オープニングで女性のうたごえ東京連絡会のよびかけに集まった総勢70人が5年ぶりに「花には太陽を子どもには平和を」「ダニーボーイ」「青い空は」を指揮 福田由美子 高橋一美 ピアノ 亀井奈緒美 ギター 大熊啓で演奏しました。練習会1回と当日リハでしたが、「戦争はさせない」という思いでうたごえを会場いっぱい響かせました。大熊家も手話で参加してくれました。



当日のステージの様子



加藤さん

で集まってくれて大成功だったということ、報告がありました。また、足立で行われているうたごえ祭典は40周年を迎えて24団体という地域でたくさん活動している仲間を組織して300人で大成功させたという報告がありました。なんと練習会場は小学校で、それも無料でやっていらっ



加山さん

地域に根差したというところでは、「南部合唱団」の加山さんからは、とにかく声がかかったら出かけて行って歌うんだということ、行けば「歌があつてよかった」ということを言ってもらえるということ、うたごえが本当に待たれているんだということが、実際にすこい数の演奏を行っているという報告がありました。

地域に根差したというところでは、「南部合唱団」の加山さんからは、とにかく声がかかったら出かけて行って歌うんだということ、行けば「歌があつてよかった」ということを言ってもらえるということ、うたごえが本当に待たれているんだということが、実際にすこい数の演奏を行っているという報告がありました。



杉田さん

に受け止めて、素晴らしい演奏ができ、自分たちが一歩階段を登れたよう。と、そういう専門家との協力のあり方という大切な紹介されたのかなと思います。

## 文書発言

「紙ふうせん」の小谷さんからは、歌う会を続けてきて会場が変わったんだけれども引き続きパワアップして取り組んでいる。多摩市の合唱祭

にも出演してみんなの力になっていくという報告がありました。「三多摩教職員合唱団」の箱崎さんからは、いつでもどこでもうたごえ新聞を取りまかせんか声をかけているということ、家族にも団員にも叱咤激励し、本当に大きな成果を続けてあげられている。ということ、うたごえ新聞への愛があふれている。それはなかなか真似できないと思いつつも、みんなで目標にしていけたら、というふうに思いました。また私から東部の絆ということ、言葉を頑張り続けているということを紹介させていただきました。まとめ佐宗副会長